

●聖句カード

ヨハネによる福音書による福音書 10 章 11 節で、イエス様は言われました。「良い羊飼いは羊のために命を捨てる」と。良い羊飼いは、自分の羊すべてを愛しています。真ん中の羊は迷子の羊。命懸けて探して、やっと見つけてほっとしているのです。さて、聖句カードの左右の絵の中には、違うところが4箇所あります。わかるかな？（答えは2ページにあります。）



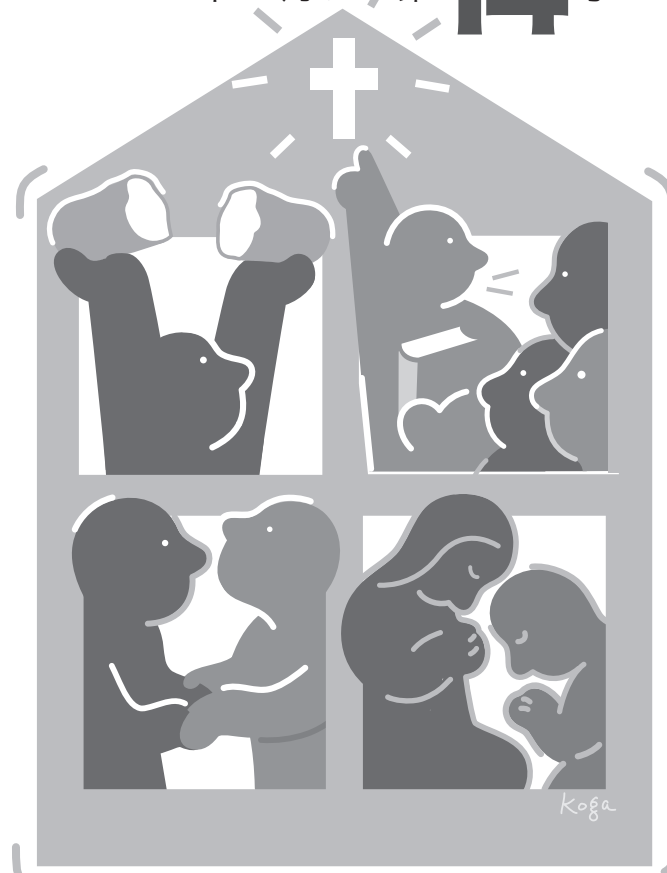
左



右

ちゅう こう せい かい
中高生会
れい はい だよ
礼拝便り

2022年2月 第14号



日本キリスト教団 武蔵野教会日曜学校

〒171-0031 豊島区目白5-16-3 tel.03-3953-8344

musashino-church5163@nifty.com <https://www.musashino-church.jp>

みなさん、お元気ですか？

「中高生会・礼拝便り」の第13号ができました。中高生会は、今月も引き続き、感染に十分注意しながら、毎週、礼拝を守り続けています。今年に入って収束するかな？と思われた感染症、オミクロン株が広がる、という残念なことに。また、緊張感が高まっています。まだ、しばらくは、このような印刷物での中高生会となるでしょう。

今月は1月16日の聖書箇所(羊飼いの声)の説教の内容と聖句カードを紹介します。みなさんとお会いできる日を楽しみに待っています。

なお、日曜の朝9:00からの中高生会の礼拝のZoom配信の準備、できています。みなさんのパソコン、スマホで視聴できます。視聴をご希望の方は、日曜学校教師にメールを送ってください。

佐々木瑞穂(shalom-mizuho@outlook.jp)にお願いします。Zoomのご招待メールを礼拝前日までに送ります。よろしくお願いします。

日曜学校・中高生会

2月20日の聖句：ヨハネによる福音書12章35節・36節a

35 イエスは言われた。「光は、今しばらく、あなたがたの間にある。闇に捕らえられることがないように、光のあるうちに歩きなさい。闇の中を歩く者は、自分がどこへ行くのか分からない。**36a** 光の子となるために、光のあるうちに、光を信じなさい。」

聖句カードの書き方：手、真ん中の角、右下の角、左下の角の向き、一番遠くの角の向き

「光の子となる」

エルサレムに大歓迎されながら入った後の出来事です。今しばらくしかあなた達と一緒にはいられない、という状況がわかっているイエス様が話されました。

光と闇が出てきました。光、は何のことでしょう。闇、は何のことでしょう。光は救い主、でしょうか。では闇は？ 電気が普及している今の私たちの生活には闇は想像しにくいです。私もあまり経験ないのです。日曜学校の夏のキャンプでバイブルホームに行ったときの夜の山道くらいでしょうか、まさに闇の中でした。仲間と一緒にだから歩けました。人間にとって闇は怖いものなのです。イエス様の時代は夜はともしびが頼りでしたから、闇は身近だったと思います。身近な例えで話されているのです。行き先がわからなくなる闇、それは心の中にも起こります。目の前のいろいろなことに振り回されて何が大事なのかわからなくなる時、心は闇に覆われて、イエス様の光が見えなくなっているのです。イエス様はそんな怖い、孤独な状態に誰一人、放っておこうとなさいません。恵みの光で照らしてあげよう、いつも思っています。神様からの救いの光、愛と恵みは絶えることはありません。闇に襲われることもあるでしょう、でもそんな時こそ、私たちの存在全体を照らしていただけるよう、神様に祈り求めていきましょう。(岡本友子)